

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	2017年 7月 28日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在） 京都府城陽市寺田新池36	氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 星和電機株式会社 代表取締役社長 増山 晃章

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2015
適用範囲	星和電機株式会社 本社工場、北海道支社、東北支社、東京支社、中部支社、関西支社、西日本支社、他、7営業所
導入年月日	2003年 10月 15日
認証番号	EC03J0149
基本方針	星和電機株式会社は、人と自然が共存できる豊かな社会づくりに貢献するため、「人と環境を考えたものづくり」をモットーに、全組織を挙げて環境マネジメント活動を組織的に推進して、地球・地域環境との調和を図ります。当社で製造する照明器具・情報機器・オプトデバイス等の製品と製品の開発・設計・製造、工事、販売及びサービスにともなう事業活動において、環境負荷の低減に取り組むと共に、幅広く社会に受け入れられる企業としてその価値を高めることを目指します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	省エネルギー（CO2排出量）・・・前年比 2%減 省資源（紙使用量の抑制）・・・前年比 2%減 廃棄物削減・・・前年比 1%減 有害物質削減・・・RoHS規制対象6物質・その他有害物質に対し、100%含有調査、100%代替化、100%維持管理（各事業部により、上記どれかの目標値） 製品対策・・・環境配慮製品の開発計画（中期計画）の達成 地域社会との協調・・・地域とのコミュニケーションの拡大 法規制・自主基準の順守・・・完全順守
目標を達成するための取組の内容	省エネルギー（CO2排出量）・・・室内温度最適化、不要電力の削減、エコ替えの計画 省資源（紙使用量の抑制）・・・裏紙の使用、電子化、ミスコピーの削減 廃棄物削減・・・廃棄物の分別推進、廃棄物の計量による見える化、環境適合設計の推進、不良品、クレーム不具合の低減 有害物質削減・・・環境適合設計の推進、グリーン調達活動 製品対策・・・環境配慮製品の開発計画のPDCA 地域社会との協調・・・工場周辺清掃、地域環境貢献への催し開催、見学の受入 法規制・自主基準の順守・・・環境関連法令等の順守チェック、環境パトロール
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー（CO2排出量）・・・ほぼ計画通り推進している。 省資源（紙使用量の抑制）・・・計画通り推進している。 廃棄物削減・・・実施中だが、28年度排出量は目標値に対し約6%増加。 有害物質削減・・・実施中。 製品対策・・・実施中。 地域社会との協調・・・計画通り実施中。 法規制・自主基準の順守・・・計画通り実施中。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	「環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標」欄の内容を計画通り実施中。
事業活動に係る法令の遵守の状況	年2回マネジメントレビューで法令順守の状況を確認し報告している。 2017年3月時点マネジメントレビューでは、全ての法規制及び顧客要求事項に順守していることを確認し報告されている。 また、改正RoHS指令について、2019年7月より電気電子部品が適用対象となることから、情報収集を行って今後の対応を検討することを決定している。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	2016年4月27日実施のISO14001審査を受け、不適合は無く、システムは有効とみなされている。また、2017年度3月のマネジメントレビューにて、マネジメントシステムの見直しは不要（継続・維持）と判断された。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。